

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	公園緑地維持管理事業					②事業番号	5303
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	年度
⑥根拠法令等	☐ 法令	☐ 条例	☐ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称
⑦実施手法	直営	全部委託	☐ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	7	項	4	目	4	細目
⑨担当部名	⑩担当課名			会計			
都市整備部	住宅公園課			一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
①各公園施設を利用する市民・使用者	①市民	人
②市内公園施設及び緑地	②管理公園・緑地数	箇所
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
○公園137箇所、緑地28箇所 ○契約により区、自治会に維持管理を委託しているもの他、市が修繕や草刈り、剪定など業者発注を実施している	①管理公園・緑地面積	m ²
	②公園等管理業務委託	千円
	③自治会等委託公園数	公園
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市民(利用者・使用者)の安全性確保、利便性・快適性の向上を行う。	① 依池公園利用実績	日
	② りんくう南浜2号公園テニスコート利用実績	件
	③ 自治会等が管理する公園の割合	%
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
効率的で効果的な公園施設の維持管理を行うことにより、快適で安全な公園施設を提供する。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします
	施策中	3 公園・緑地の整備
	施策小	3 公園・緑地の維持管理

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H.29実績	H.30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	市民	人	62,549	61,984	61,457	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	管理公園・緑地数	箇所	166	165	165	166	166	
活動指標①	管理公園・緑地面積	m ²	275,311	275,042	275,042	523,635	—	
活動指標②	公園等管理業務委託	千円	45,783	36,428	41,330	37,945	—	R2泉南りんくう公園供用開始。
活動指標③	自治会等委託公園数	公園	80	80	81	81	—	
成果指標①	依池公園利用実績	日	300	231	267	266	—	
成果指標②	りんくう南浜2号公園テニスコート利用実績	件	1,783	1,635	1,181	1,533	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③	自治会等が管理する公園の割合	%	58	58	59	59	—	
事業費	投入人員	人	2.15	1.70	1.57	1.81	—	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	R1より紀泉わいわい村公園施設管理業務を産業観光課に所管替え。
	任期付職員	人	0.20	0.20	0.00	0.00	—	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	17,592	14,115	12,108	13,959	—	
	直接事業費	千円	45,783	36,428	41,330	37,945	—	
	総事業費	千円	63,375	50,543	53,438	51,904	—	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	
	府支出金	千円	417	417	0	0	—	
	受益者負担金	千円	7,219	6,577	3,784	4,334	—	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	—	
	一般財源	千円	55,739	43,549	49,654	47,570	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市が設置した公園施設や開発などに伴い、適正に管理する必要があった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	管理施設の増加及び老朽化が進んだことに伴い、維持管理経費も増大している。 開発に伴い更なる管理物件の増加が見込まれる。 老朽化が進んだ施設の更新が必要となる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	自治会の高齢化により管理が困難な公園も増加が見込まれるため、自治会に限らず、市域全体で公園緑化ボランティアの導入の検討が必要。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	公園・緑地の適正な維持管理を行うことは豊かな自然環境を維持・向上する。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	公共施設の維持管理事業である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	他の自治体に比べても適正に事業を実施している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	安全面・環境面で著しい不安が生じる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **B**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	管理物件が非常に多く、限られた予算の中での維持管理であるため、全てをカバーすることは困難。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	他の管理物件と一括管理を行う。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	道路部局や農林部局などと連携をとるなど類似目的を持つ事務事業と一括管理を行うことにより、コストの削減することができる。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **B**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	他の類似物件と一括管理を行うことによりコストを削減することができる。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	公共施設の維持管理事業であるため、一部施設を除き歳入を確保することはできない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	自治会委託により管理している公園について、住民の高齢化により公園の維持管理契約の件数が減少傾向にある。また、公園遊具の耐用年数等が過ぎているものもあり、更新が必要となってきた。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
	a b	
①改革、改善の具体案、実施年度など		維持管理に係る経費が増加する中で、類似部局との連携によるコスト削減の方法を検討。 りんくう公園予定地については、PFI事業によりR2年度開園予定。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		公園の維持管について、自治会による管理運営が困難な公園については、今後、ボランティアの活用や他団体等への委託も含め検討を行う。